

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	緩和ケア病棟におけるオピオイド鎮痛薬の終末期投与量と年齢、せん妄に関する調査検討
研究責任者	奥津 雄人
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	目的: 加齢に応じて薬物療法に対する反応性が変化することが知られています。また、せん妄が併存することで疼痛の評価は困難となります。オピオイド鎮痛薬投与量に関して年齢とせん妄の関与について検討する事は重要であると考えます。 意義: 癌治療の進歩や超高齢化の影響で、緩和ケア病棟にも超高齢者の入院が増加しています。そこでオピオイド鎮痛薬投与量に関して年齢とせん妄の関与について検討する事は重要であると考えます。
研究方法	2021年1月1日から2021年12月31日までの1年間に緩和ケア病棟で亡くなった患者さんに対して、亡くなった時点の年齢、オピオイド鎮痛薬の投与量、せん妄の有無を調査します。得られたデータに対して年齢区分毎に比較を行います。 この方法は後向き観察研究で、新たに患者さんへの負担はかかりません。個人名を消去し、代わりに番号などを付与して匿名化する方法で、統計解析を行います。その結果は医学・薬学系の学会等に公表されることがあります。 研究に組み入れられることを希望されない方は、下記担当者にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は行いません。また、参加を希望されなくても患者さんへの不利益はありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 薬剤部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者: 奥津 雄人 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604